

授業科目           海外フィールド実習          

|   |               |       |           |           |                      |
|---|---------------|-------|-----------|-----------|----------------------|
| 【担当教員名】<br>久保 雅義、古西 勇、亀尾 徹  |               | 対象学年  | 1・2・3・4   | 対象学科      | 理学                   |
|   |               | 開講時期  | 後期        | 必修選択      | 選択                   |
|   |               | 単位数   | 1         | 時間数       | 45                   |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】  |               |       |           |           |                      |
| 知識・理解   | 思考・判断         | 関心・意欲 | 態度        | 技能・表現     |                      |
| ◎   | ◎             | ◎     | ◎         | ◎         |                      |
| <p>【概要・一般目標：GI0】</p> <p>日本は既に高齢社会への道のりを世界に先駆けてたどり始めている。これからの保健医療福祉分野には「過去のやり方の延長」を超える新しいやり方が求められており、その担い手となるためには「幅広い視野」を持ち、新しいやり方を実践できる行動力が必要とされる。</p> <p>海外フィールド研修を通じて、専門領域である理学療法分野にとどまらず、社会・文化などより包括的な視点から新しい価値を認識し、さらに新しい価値の創出を提案できる能力を身につける。</p> |               |       |           |           |                      |
| <p>【学習目標・行動目標：SB0】</p> <p>1. 保健医療福祉の分野での、日本のシステムとフィールド研修でおとずれた国のシステムの違いについて説明することができる。</p> <p>2. 施設見学・大学の講義参加などの活動をおとして、コミュニケーション能力を高めることができる。</p> <p>3. フィールド実習のスケジュール・活動内容について、みずから調査し立案することができる。</p>   |               |       |           |           |                      |
| 回数  | 授業計画・学習の主題    |       |           | SB0<br>番号 | 学習方法・学習課題<br>備考・担当教員 |
| 1   | 海外フィールド研修への参加 |       |           | 1-3       |                      |
| 【使用図書】  |               | <書名>  | <著者名>     | <発行所>     | <発行年・価格 他>           |
| 教科書<br>(必ず購入する書籍)   |               |       |           |           |                      |
| 参考書   |               |       |           |           |                      |
| その他の資料  |               |       |           |           |                      |
| 【評価方法】<br>海外フィールド実習に対する、事前・研修中・事後の3つの相での「主体的な参加」が評価の対象となる。  |               |       | 【履修上の留意点】 |           |                      |